

みやけの風

第 252 号

平成17年(2005年)12月10日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

12月に入り、急に寒くなってきました。東京では乾燥した日が続く、電車に乗っていてもマスクをした人をたくさん見かけるようになりました。街路樹には灯りがともり、クリスマスツリーと散り急ぐ落ち葉が競争です。年賀状の準備もしなければ・・・。

みんなの声

子どもの頃を思い出しながら

11月28日、<風の家>の障子を皆で洗いながら、子どもの頃を思い出して夢中で話してしまいました。障子をはがした紙も捨てないで、乾かしてトイレの落とし紙にしたこと、障子を洗う頃は寒さが厳しくて、絆纏を着て鼻汁をすすりながら洗ったこと、障子を貼るための「ふ海苔」取りを大人たちがしていたこ

と、皆で仕事をする楽しさを実感しながら洗いました。

29日朝、<風の家>に行くと、昨日洗った障子に新しく紙が貼られ、部屋が一段と綺麗に見え、明るく温かく感じました。<風の家>は皆で温かい風を吹かせているんだな、と思った朝でした。

(阿古 鈴木 則子)

～ みやけじま 「風の家」 より ～ 12月9日

早いもので、間もなく年末を迎えようとしています。三宅島の冬の名物(?)といわれている冷たく強い西風も、ピューピューと音を立てて吹き始めました。ここ「風の家」も毎日、西風と海から吹き上がる潮に吹かれながらもみんな元気に過ごしています。

5年振りのお正月を控え、島のあちらこちらではお正月用の「イモもち」に使う「サツマの煮切干し」を縁側に干している光景が見られるようになりました。先日あるお宅の方にお話を伺ったところ、「本当は島のサツマでつくれたらいいんだけどねえ～。だけど島のお正月のおもちには欠かせないから。来年は自分の畑で作ったサツマで搾りたいよ！」と嬉しそうに話されていました。

今、島の風景が変わり始めています。どんどん見通しが良くなりました。これは、農地(畑)の開墾が進んだためです。ついこの間まで竹藪だったところが、きれいに刈り取られサクを切り、茶色い土の畑がよみがえっ

ています。<風の家>のみんなで、ドライブに出掛けるときも車内では「おお！ここもきれいになったじよ」「おっ、アシタバすうえてんな」などと新しくよみがえった豊かな畑を見て、元気をもらっています。

<風の家>にとっては初めてのお正月を迎えます。そこで、この暮れを元気に過ごし、新しい年をより元気に迎えましょうという意味を込めて、12月27日(火)に「おもちつき会」を開くことになりました。今からその準備も少しずつ始めています。

5年前に起こった噴火災害を受止めた、すべての三宅島のみなさんにとって、今年は特別なお正月になると思います。支援センターは<風の家>を通じて、引続き島のみなさんと一緒に歩んで参ります。

なにかと慌しくなる頃となりましたので、くれぐれもお体にはお気をつけて、元気で過ごしましょう。

みやけじま <風の家>

〒100-1212 三宅村阿古 532-1 TEL 04994-5-1470 FAX 04994-5-1471

番組放送のお知らせ

先日もお知らせいたしました、NHKBSで放送される「あなたとつくる時代の記録 映像の戦後60年 1990-2005 混迷の時代 人々は生きる」で、三宅島の方が撮影した映像が放映されます。

「みやけの風」へのご意見・ご要望を、三宅島支援東京センターまでお聞かせください。

NHKBS 「あなたとつくる時代の記録 映像の戦後60年
1990-2005 混迷の時代 人々は生きる」

どうぞご覧ください!!

放送予定 2005年12月11日 19:30~21:30 (BS2)
2005年12月18日 19:30~21:30 (BSHi)
2005年12月22日 22:00~24:00 (BSHi)

三宅島のパートは1時間27分たったところから始まります。
(三宅高校の)青谷先生、(郵便局の)田中勝也さん、(ちえみ荘の)福澤晴行さんのお嬢様・佐藤千枝美さんや福澤晴美さんが撮影された映像が紹介されます。
番組ホームページ <http://www.nhk.or.jp/sengo60/>

NHK教育テレビ 「みんな生きている」 ~島の人々のきずなを深めたい~
小学3~6年生の総合学習向けに放送されている『みんな生きている』で、三宅島のことが取り上げられました。三宅村合同音楽会の様子も放送されます。どうぞご覧ください。

<番組紹介より>

三宅島には、島のお年寄りたちが交流をする場所があります。名前は「風の家」。
5年前に起こった火山の噴火をのりこえて、きずなを深めようとする人たちをえがきます。

放送日時：再放送 12月13日、15日 9:30~9:45 (3チャンネル)

年内のご相談は12月24日まで、
年明けは1月7日より開設します。

ひとりで悩まないで!

私たちは、司法書士・弁護士・税理士を中心にみなさまへの法的支援を目的とする三宅サポート法律家グループです。法律上の困り事や悩み事の相談を無料でお受けしています。に行くことができない方もお気軽に電話ください。出張し、相談をお受けいたします。また、島民同士のことなので争いにしたくない場合にも、仲裁や調停を行うこともできます。

三宅島常設相談所開設

できるだけ事前にお電話ください

毎週土曜・日曜

住所 三宅島三宅村神着 1 1 2 1

ナダートバス停貯水槽の奥です。

電話 04994-2-1600

お問合せ 050 5520 3738

(マザーシップ法律事務所)

法律上の困り事や悩み事の相談を無料でお受けします。
三宅サポート法律家グループ(NPO司法過疎サポートネットワーク)
全国青年司法書士協議会

法的支援が必要な場合にも、災害により資力を失った被災者に対しての司法書士が提供する法的サービスについては、「日本司法書士会連合会」の支援により、報酬の免除や一部免除が可能な場合もあります。